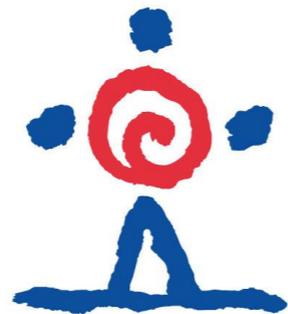


東京都 省エネ・再エネ住宅推進プラットフォーム
令和6年度 第2回連絡協議会

一般社団法人 環境共生まちづくり協会 (kkj)の活動について



令和6年10月2日
一般社団法人 環境共生まちづくり協会
事務局 中田義規

一般社団法人 環境共生まちづくり協会（kkj）の概要

沿革

- 1990年12月 環境共生住宅研究会（1992年リオ「地球サミット」を見据えて）
建設省住宅局（当時）により産学官連携で創設
環境共生住宅推進会議（1994）、環境共生住宅推進協議会（1997）
- 2009年01月 一般社団法人 環境共生住宅推進協議会（多方面の活動に対応）
- 2024年06月 **一般社団法人 環境共生まちづくり協会**（理念に則した活動）

スローガン

地球環境を保全し、周辺環境と親和しながら、健康で快適に生活できる
「住まい・まち・暮らしの環境共生」という理念のもと、
四季折々の住まい方をふまえて心豊かな環境共生社会づくりに貢献します。
幅広い業種の会員とのパートナーシップを大切にしながら
SDGsのさまざまな目標に取り組み、持続可能な社会の実現を目指します。

会員

- 会長：竹中宣雄（元ミサワホーム(株)会長）2011年6月より
- 会員：総会員数：101（正会員：33 情報会員：59 地域会員：9）
（2024年9月1日現在）

会員一覧

正会員

33社

■住宅

旭化成ホームズ株式会社
住友林業株式会社
積水化学工業株式会社
積水ハウス株式会社
大和ハウス工業株式会社
トヨタホーム株式会社
パナソニックホームズ株式会社
ミサワホーム株式会社

■建設

株式会社大林組
大末建設株式会社
大成建設株式会社
戸田建設株式会社
西松建設株式会社

■エネルギー

大阪ガス株式会社
関西電力株式会社
東京ガス株式会社

■建材設備

河村電器産業株式会社
三協立山株式会社
TOTO株式会社
株式会社LIXIL
YKK AP株式会社

■団体

(一社)高齢者住宅協会
(一財)住宅生産振興財団

■コンサルタント

株式会社岩村アトリエ
株式会社綜建築研究所
株式会社地球工作所
日本環境技研株式会社
株式会社ベーシックユニット

■企画・他

株式会社建築資料研究社
株式会社建築ピボット
竹田印刷株式会社
株式会社ネプス
株式会社ファジー・アド・オフィス

情報会員

59社

■住宅

サンヨーホームズ株式会社
大東建託株式会社
ナックハウスパートナー株式会社
株式会社日本ハウスホールディングス
三井ホーム株式会社

■建設

株式会社竹中工務店

■エネルギー

静岡ガス株式会社
鈴与商事株式会社

■建材設備

株式会社アイシン
旭化成建材株式会社
旭ファイバーグラス株式会社
ウィズガーデン株式会社
株式会社エクセルシャノン
株式会社FLTクヤマ
エリーパワー株式会社
OMソーラー株式会社
株式会社カネカ
コニシ株式会社
株式会社サンゲツ
株式会社三葉製作所
大建工業株式会社
デュボン・スタイロ株式会社
株式会社ノーリツ
株式会社パロマ
ポラテック株式会社
山梨住宅工業株式会社
株式会社ユータック

■不動産

株式会社コーセーアールイー
東急不動産株式会社
株式会社リブラン

■金融

(独)住宅金融支援機構
日本住宅ローン株式会社
ホームファーストファイナンス株式会社

■団体

(一財)建築行政情報センター
(一社)新都市ハウジング協会
東京都
NPO法人日本健康住宅協会
(一社)日本建材・住宅設備産業協会
(一社)日本木造住宅産業協会
(一社)プレハブ建築協会
(一社)緑のまちづくり支援機構

■コンサルタント

株式会社アルセッド建築研究所
株式会社市浦ハウジング&プランニング
環境・省エネルギー計算センター
株式会社クアトロ
日菱企画株式会社
日本ER株式会社
株式会社ブレインスタッフ
LEAD Labo.

■企画・他

株式会社アルス
イー・ビー・シー開発株式会社
SBSマイホームセンター株式会社
株式会社サンフジ企画
株式会社創樹社
株式会社日経社ハビタニ
ヒューマンリソシア株式会社
株式会社フォーラム・ジェイ
株式会社403
株式会社ライダーズ・パブリシティ

地域会員

9社

■住宅

アイ・ホーム株式会社
エコワークス株式会社
株式会社えねい建設
株式会社エパーフィールド
三承工業株式会社

■建材設備

久大建材株式会社

■団体

家づくり図書館
～家づくりは学ぶことから始めよう～
株式会社茨城県南木造住宅センター
感動の住まいづくり研究会

主要事業

一般事業 創設当時から活動している基幹事業

- ・ 会員会社が参加する部会活動（推進部会、調査研究部会、広報部会など）を通じて、「住まい・まち・暮らしの環境共生」という理念を追究する

国庫補助事業【CATE1】 kkjが主体となって普及啓発する国土交通省の補助事業

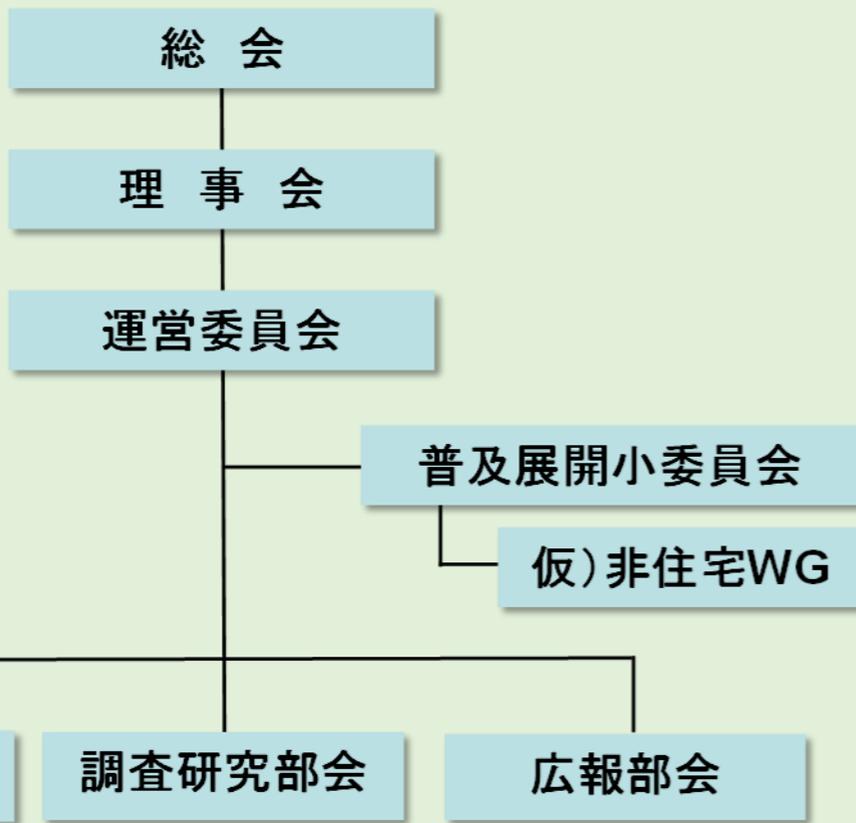
- ・ 2013-2020 ESHパッシブデザインツールの開発・普及
- ・ 2021 カーテン等付属部材が省エネ性能に及ぼす影響の検証
- ・ 2022 太陽光発電システム設置に関する適切な情報提供の検討・整備・普及
- ・ 2023 省エネ性能の高い住宅を使いこなす住まい方の周知・普及に関する情報提供
- ・ 2024 省エネ性能の高い住宅の設計留意点に関する周知・普及に関する情報提供

国庫補助事業【CATE2】 施主や事業者へ国庫補助金を交付するための審査事業

- ・ サステナブル建築物等先導事業（省CO2先導型、気候風土適応型）
- ・ 既存建築物省エネ化推進事業
- ・ 地域型住宅グリーン化事業
- ・ LCCM住宅整備推進事業
- ・ 気候風土適応住宅の独自基準策定の支援事業

一般事業

体制



普及展開小委員会：適宜開催（部会横断型のテーマなど）

iii イベントの企画

- まちづくり事例紹介+意見交換会 など

推進部会

- i データベースの拡充
 - 環境共生住宅事例
 - 環境共生団地・まちづくり事例
- ii 書籍・ツールの発行
 - 早わかり設計ガイド
 - 先人の知恵・今人の工夫
- iii イベントの企画
 - 環境共生住宅の新しい魅力を考える勉強会

調査研究部会

- i データベースの拡充
 - 環境共生住宅推奨部品（会員の製品）
- ii 書籍・ツールの発行
 - お勧め建材ガイド
 - お勧め設備ガイド

広報部会

- i データベースの拡充
 - 会員の環境活動
 - 会員のモデルハウス・ショールーム
- ii 書籍・ツールの発行
 - （春夏秋冬編）5カ条
 - （自然活用編）5カ条
- iii イベントの企画
 - 見学会
 - 交流セミナー

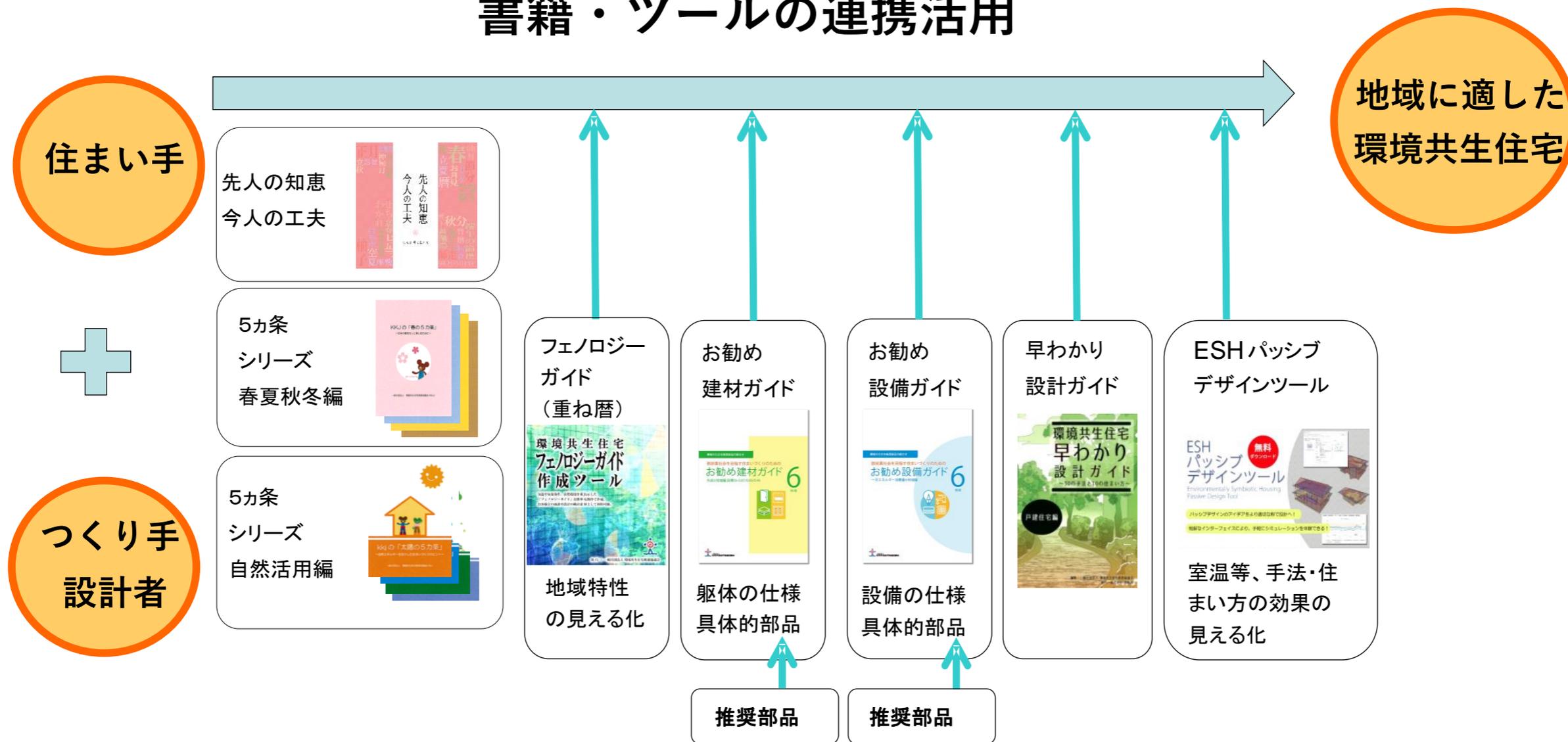
一般事業

推進部会

調査研究部会

広報部会

書籍・ツールの連携活用



一般事業

広報部会

会員の環境への取り組み

ら行

株式会社 LIXIL

SDGs・CSR

[LIXILグループ「水の保全と環境保護」取り組み](#)

LIXILグループは製品・サービスを通じて社会課題に取り組んでいます

SDGs・CSR

[LIXILのECO](#)

LIXILと一緒に、住まいからECOをはじめませんか？

SDGs・CSR

[環境配慮設計・エコ商品](#)

LIXILの環境配慮設計とエコ商品のご紹介

製品/住宅

[LIXILのZEH](#)

LIXILのZEHが創る これからの住まい

製品/ソフト

[住まいの省エネ・節水シミュレーター](#)

最新機種のランニングコストやCO2削減量を計算できます

製品/ソフト

[太陽光発電システム導入シミュレーション](#)

わが家の発電量は？設置条件を選んでシミュレーションができます

株式会社リプラン

製品/住宅

[エコミックスデザイン](#)

自然の力を活用し、本当の心地よさを感じる住まいの快適創造術

会員様の該当ホームページにリンク

Global 〻 / カタログ / Q&A・お問い合わせ 🔍 検索キーワード

商品ラインアップ / リフォーム / ショールーム / お客様サポート / LIXILについて / ビジネス向け

ホーム > 商品ラインアップ > 太陽光発電・外壁・屋根

太陽光発電・外壁・屋根

いい家をお得に建てるなら！

建て得

建て得

建て得は、太陽光発電システムを製品代実質0円で設置することで、ZEHをお得に建てることのできるサービスです。

▶ 建て得

一般事業

調査研究部会

環境共生住宅推奨部品データベース

会員様の該当ホームページにリンク

設備機器



換気機器



暖冷房機器



給湯・給湯暖房機器



照明器具

キッチン関連機器



食器洗い乾燥機



キッチン用水栓



家庭用浄水器

トイレ関連機器



便器・便座



種類	部品名	適用対象	規格取得の有無	メーカー名
超節水型便器/温水洗浄便座	① プレアスLSタイプ	新 リ	あり	① 株式会社 LIXIL
	② リフォレ (H2~H1グレード)	新 リ	あり	② 株式会社 LIXIL
	③ アメージュシャワートイレ	新 リ	あり	③ 株式会社 LIXIL
	④ ウォシュレット一体型便器 G/GG800	新 リ	あり	④ TOTO 株式会社
	⑤ タンクレストイレネオレストL S/AS/RS	新 リ	あり	⑤ TOTO 株式会社
温水洗浄便座	⑥ シャワートイレ KAシリーズ	新 リ	あり	⑥ 株式会社 LIXIL
	⑦ シャワートイレ KBシリーズ	新 リ	あり	⑦ 株式会社 LIXIL
	⑧ ウォシュレットS,SB	新 リ		⑧ TOTO 株式会社
	⑨ ウォシュレット アプリコット	新 リ		⑨ TOTO 株式会社

新 新築 リ リフォーム

一般事業

推進部会

『先人の知恵 今人の工夫』の12の室礼

- 四季折々の年中行事や室礼、伝統的な日本建築を紹介する『先人の知恵』
- 現代の暮らしの中で豊かに生きるための室礼を提案する『今人の工夫』
- 巻末には12の室礼提案を実践するための《図解イラスト》と《材料表》

《図解イラスト》



青紫聯芳



左頁：『先人の知恵』 右頁：『今人の工夫』

- | | |
|-------|-----------------------------------|
| 一 睦月 | 正月
年神様へのご挨拶 |
| 二 如月 | 節分
春を待ちわびる / せちわかれ |
| 三 弥生 | 雛祭
小さな春が芽吹く部屋 |
| 四 卯月 | 花祭 / 予祝
春たけなわ、予祝の桜 |
| 五 皐月 | 端午の節供
風にふわりと誘われる |
| 六 水無月 | 嘉祥菓子 / 青紫聯芳
雨が降るのが待ち遠しい |
| 七 文月 | 七夕
軒下での夕涼み |
| 八 葉月 | お盆
故人を偲ぶ夏の夜 |
| 九 長月 | 重陽の節供
秋色卓子 |
| 十 神無月 | 月見
月の明かりに心を寄せる |
| 十一 霜月 | 七五三
晩秋彩美 |
| 十二 師走 | 冬至
冬至時間 |

六月室礼		《材料表》
よしず	1800×1800	
枕木	800×190×80 600×190×80×2本	
那智石(黒)	五分 10kg	
三波玉石		
溶岩レンガ	200×100×50	
防水シート		
小計:	8,300円	
碧の花器		
花: ホテイアオイ		
苔(グリーンモス)		
南天		
シダ		
サギナスプラタ		
ジャカランダ		
小計:	9,000円	
植物		
合計:	17,300円	

一般事業

調査研究部会



①省エネ基準、②ZEH基準、
③さらにワンランク上の性能
を実現する仕様と具体的な環
境共生住宅推奨部品の組み合
わせを提案
1地域版～7地域版を発行

ご紹介する3つの断熱性能レベル

レベル1 $U_A = 0.87$ 以下

断熱等性能等級4、H28年省エネ基準をクリアしたい人にお勧め！
レベル1は省エネ基準レベルです

レベル2 $U_A = 0.60$ 以下

断熱等性能等級5、誘導基準、ZEH基準（強化外皮）をクリアしたい人にお勧め！
レベル1にくらべ外皮から逃げる熱をさらに約31%抑えられます

レベル3 $U_A = 0.46$ 以下

断熱等性能等級6、ZEH+要件（更なる強化外皮）をクリアしたい人にお勧め！
レベル1にくらべ外皮から逃げる熱をさらに約47%抑えられます

レベル2
充填断熱工法
等級5・誘導基準・ZEH基準
対象地域：6地域

性能

外皮平均熱貫流率 $U_A = 0.58$ [W/(m ² ・K)]	冷房期の平均 日射熱取得率 $\eta_{AC} = 2.1$ 2.2	暖房期の平均 日射熱取得率 $\eta_{AH} = 2.9$ 3.1
---	--	--

【等級5・誘導基準・ZEH基準(6地域)】
 U_A 値：0.60 W/(m²・K) 以下
 η_{AC} 値：2.8 以下
 η_{AH} 値：一次エネルギー算出時に用いる

* η_{AC} 及び η_{AH} の値は、上段が樹脂製建具、下段が樹脂と金属の複合材料製建具による算定結果になります。

仕様

天井 断熱材：高性能グラスウールGWHG20-34 t=155
下地材：石膏ボード t=9.5

○天井の断熱材の熱抵抗値 4.6 [m²・K/W]

外壁 断熱材：高性能グラスウールGWHG14-38 t=105

○壁の断熱材の熱抵抗値 2.8 [m²・K/W]

玄関ドア 枠：金属製断熱構造または樹脂と金属との複合材料製
戸：金属製断熱フラッシュ構造

○玄関ドアの熱貫流率 2.33 [W/(m²・K)]

窓 樹脂製建具Low-E複層ガラス(G8mm以上)または
樹脂と金属の複合材料製建具Low-E複層ガラス(G14mm以上)
*Gはアルゴンガス又は熱伝導率がこれと同等以下のものが中空層に注入されている
ガラスは日射取得型

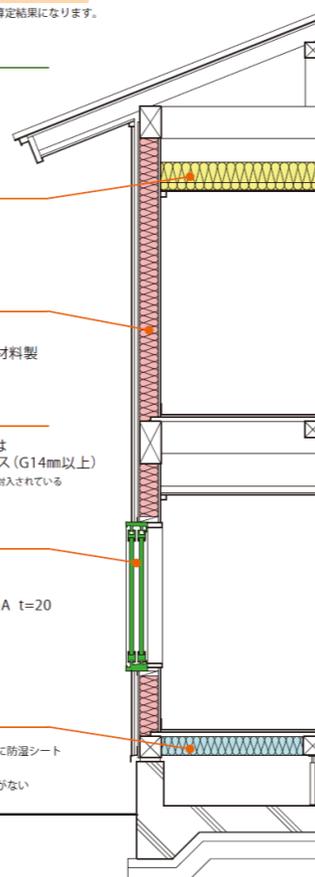
○窓の熱貫流率 2.33 [W/(m²・K)]
○窓の日射熱取得率 0.46/0.51

床 断熱材：高性能グラスウールGWHG36-32 t=105
土間立上 押出法ポリスチレンフォーム XPS3bA t=20
*「土間立上」は、浴室の基礎立上り部内張りとしている

仕上材：合板 t=12の上
木質フローリング t=12または断熱畳 t=55

○床の断熱材の熱抵抗値 3.3 [m²・K/W]

注意：繊維系断熱材を使用する場合には、壁体内結露を防ぐため、断熱材の室内側に防湿シートを施工してください。(防湿・気密シート一体型の断熱材もあります)
畳の範囲など床下げなどの場合は、断熱材が基礎パッキンの通気経路をふさがないようにご注意ください。



充填断熱工法

環境共生住宅推奨部品 ・同じ部位で、複数の製品が紹介されている場合はいずれかを選択してください。
・性能を満たした製品は他にも用意されています。詳細はメーカーのHP等でご確認ください。

部位	種類	製品名(メーカー)	熱伝導率λ [W/(m・K)]	厚さ [mm]	姿図
天井	グラスウール	アクリアマット α20K (旭ファイバーグラス)	0.034 ^{*1}	155	
外壁	グラスウール	アクリアネクスト14K (旭ファイバーグラス)	0.038 ^{*1}	105	
床	グラスウール	アクリアUボード ピンレス α36K (旭ファイバーグラス)	0.032 ^{*1}	105	
	仕上材(木質 フローリング)	タフテクトN (YKK AP)	0.12 ^{*2}	12	
	仕上材(断熱畳)	スタイロ畳 (デュボン・スタイロ)	R値 0.95 ^{*1}	55	
部位	種類	製品名(メーカー)	熱貫流率U [W/(m ² ・K)]	日射熱取得率 η	姿図
窓	樹脂製建具 Low-E複層ガラス (G8mm以上) 日射取得型	シャノンウインド II s (エクセルシャノン)	2.33 ^{*2}	0.46 ^{*3}	
		スマージュII (三協アルミ社)	2.33 ^{*2}	0.46 ^{*3}	
	樹脂と金属の複合 材料製建具 Low-E複層ガラス (G14mm以上) 日射取得型	EW (LIXIL)	2.33 ^{*2}	0.46 ^{*3}	
		APW330 (YKK AP)	2.33 ^{*2}	0.46 ^{*3}	
玄関ドア	枠：金属製断熱構造 または樹脂と金属 との複合材料製 戸：金属製断熱フラッ シュ構造	アルジオ、マディオJ・M (三協アルミ社)	2.33 ^{*2}	0.51 ^{*3}	
		TW、サーモス II-H サーモスL (LIXIL)	2.33 ^{*2}	0.51 ^{*3}	
		エピソード II (YKK AP)	2.33 ^{*2}	0.51 ^{*3}	
窓	枠：金属製断熱構造 または樹脂と金属 との複合材料製 戸：金属製断熱フラッ シュ構造	ファノバ[K3仕様] (三協アルミ社)	2.33 ^{*2}	0.079 ^{*3}	
		ジェスタ2[k2仕様] (LIXIL)	2.33 ^{*2}	0.079 ^{*3}	
		ヴェナートD30 [D2仕様] (YKK AP)	2.33 ^{*2}	0.079 ^{*3}	

*1 製品固有の値
*2 仕様に応じ「建具とガラスの組み合わせ」による開口部の熱貫流率(建具の仕様とガラスの性能から算出)(一社)日本サッシ協会に示された値
*3 仕様に応じ「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報第三巻第四節 Ver.12」(国研)建築研究所に示された値
・窓と玄関ドアについて一部の開閉形式、仕様等で製品対応できない場合があります。詳細はメーカーのHP等をご確認ください。

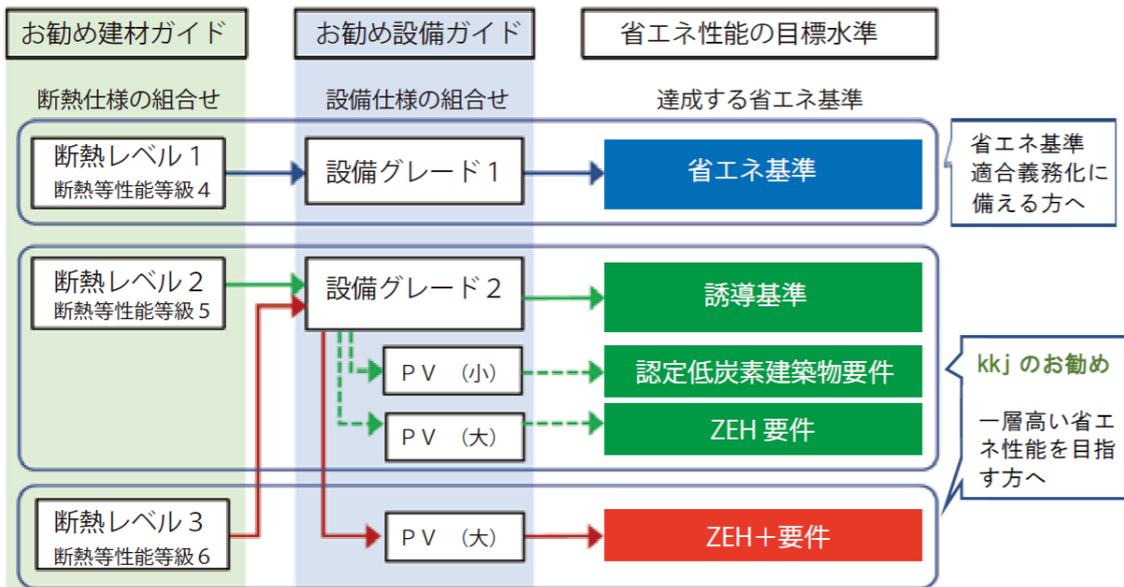
一般事業

調査研究部会



省エネ性能を向上させる設備機器の組合せを2つのグレードに分けて紹介、「**お勧め建材ガイド**」の3つの断熱等性能レベルと組み合わせた計14組の一次エネルギー消費量の算定結果を紹介します。

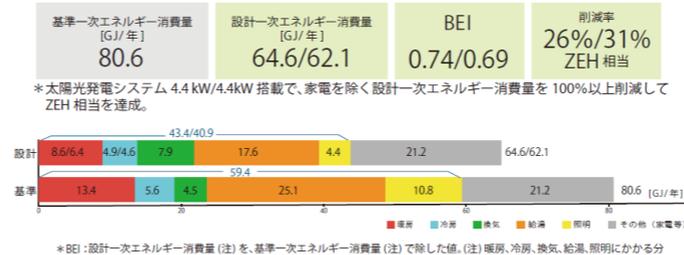
5地域版～7地域版を発行



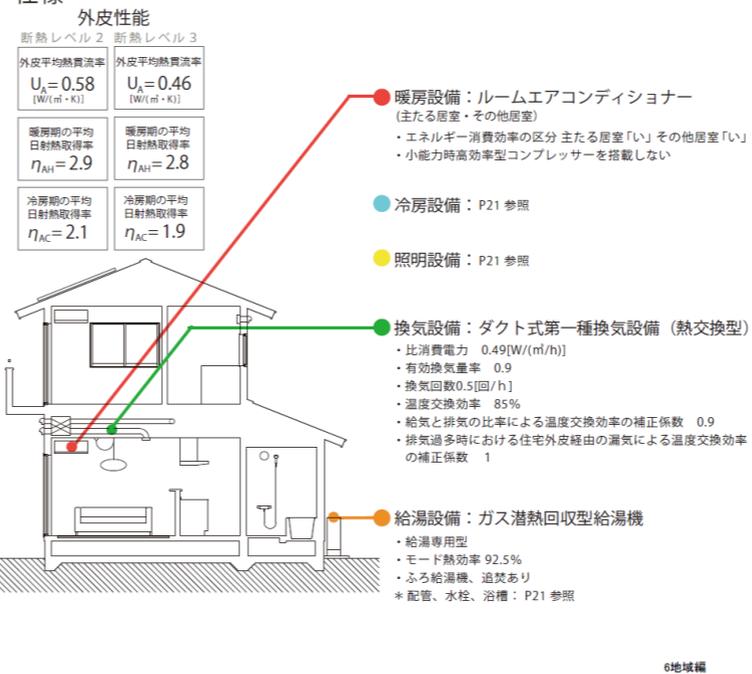
4-4 電気とガスを併用する住宅

CASE 2-1 設備グレード2

性能



仕様



環境共生住宅推奨部品

種類	製品名(メーカー*)	仕様	姿図
ルームエアコンディショナー 暖房 冷房	FZシリーズ Zシリーズ FLシリーズ JXVシリーズ (三菱電機)	エネルギー消費効率の区分い	
ガス潜熱回収型給湯機 (エコジョーズ)	エコジョーズ (大阪ガス)	モード熱効率 92.5%	
	エコジョーズ (ノーリツ)	モード熱効率 92.5%	
	エコジョーズ (リンナイ)	モード熱効率 92.5%	
ダクト式第一種換気設備 (熱交換型) 換気	ロスナイセントラル換気システム (三菱電機)	種類 天井カセット型 比消費電力0.21*1 [W/(m ³ /h)] 有効換気量率 0.95*2 温度交換効率 82%*2 *1 設計風量167.2[m ³ /h]の場合 *2 カタログ等に記載された値	
	エコエア90 (LIXIL)	種類 床置き型 比消費電力0.28*1 [W/(m ³ /h)] 有効換気量率 0.95*1 温度交換効率 83%*1 *1 設計風量160[m ³ /h]の場合	

*メーカーとは、製品を製造もしくは販売する事業者を指します。製品の詳細な情報は各メーカーにお問い合わせください

6地域編

34

一般事業

広報部会



KKJの「夏の5カ条」

- その1. 日ざしは外側で防ぐ P3
- その2. 風を通し熱を冷ます P4
- その3. 家のまわりを冷やす P5
- その4. 冷房の効果を上げる P6
- その5. 室内の発熱を抑える P7

KKJの「冬の5カ条」

- その1. 日ざしを取り入れる P3
- その2. 蓄えた熱を逃がさない P4
- その3. 冷たさを取り除く P5
- その4. 衣類を活用する P6
- その5. 室内の温度差をなくす P7

暑いツライ！
でも省エネもしたい。
いい方法って
ないのかな？

そんなキミには、
KKJの「夏の5カ条」
がオススメ！
すぐはじめられるよ。

寒いキライ！
でも省エネもしたい。
いい方法って
ないのかな？

そんなキミには、
KKJの「冬の5カ条」
がオススメ！
すぐはじめられるよ。



- その1. 春をもっと楽しむ 2
- その2. 春の冷えに気をつける 3
- その3. 季節の変化を記録する 4
- その4. 花粉対策をする 5
- その5. 夏の準備を始める 6

- その1. 夏のかたづけ P2
- その2. 秋をもっと楽しむ P3
- その3. たい肥づくりに挑戦 P4
- その4. 野菜を育ててみる P5
- その5. 冬に備える P6

春は暖かくて
大好きな季節。
いっぱい外に出て
遊びたいなあ。

朝晩の冷え込みが
厳しい季節だから、
まだまだ油断は
禁物だね。

秋は涼しくて
大好きな季節。
美味しいものも
たくさんあるよ。

紅葉狩りとか
お月見とか。
自然の変化を楽しみ
たい季節だね。



一般事業

広報部会

年度・回	見学会開催場所
令和6年度 第1回	マールク新さっぽろ オプション見学: 北海道地区FMセンター・北海道森林組合連合会
令和5年度 第2回	高橋建築(秩父): ZEH・パッシブハウス
令和5年度 第1回	太田市美術館・図書館
令和4年度 第2回	大阪ガス実験集合住宅NEXT21 Suitaサスティナブル・スマートタウン
令和4年度 第1回	大和ハウスグループ 未来価値共創センター オプション見学: 吉野かわかみ社中本社と吉野林業



一般事業

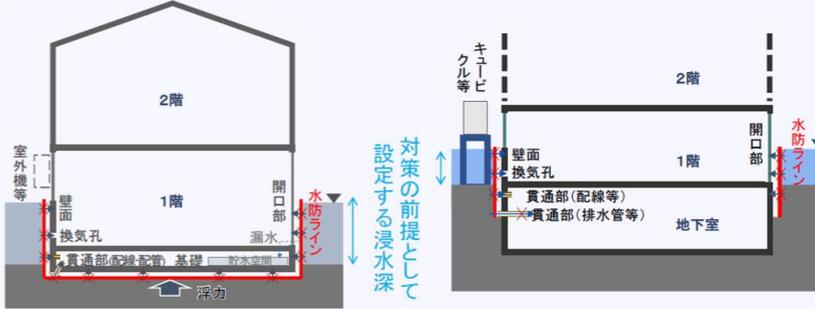
広報部会

年度・回	交流セミナー	テーマ及び講師
令和6年度 第1回	『受容する建築 ～環境工学と建築計画・デザインとの融合～』 金子 尚志氏 (千葉工業大学 創造工学部 建築学科 教授)	
令和5年度 第3回	『水害リスクをふまえた住まいづくり・まちづくり』 木内 望氏 (国土交通省 国土技術政策総合研究所 住宅研究部 部長)	
令和5年度 第2回	『脱炭素時代の住宅高断熱化と住まいの方向』 鈴木 大隆氏 (地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 理事)	
令和5年度 第1回	『建築分野におけるライフサイクルアセスメント (LCA) による環境負荷低減』 小林 謙介氏 (県立広島大学 生物資源科学部 生命環境学科 准教授)	
令和4年度 第3回	『自然とつながる「デライトフル (喜びのある)」な建築』 川島 範久氏 (株式会社川島範久建築設計事務所 主宰)	
令和4年度 第2回	『新しい環境変化への向き合い方』 竹中 宣雄氏 (kkj会長)	
令和4年度 第1回	『2050年脱炭素社会実現のためのZEB・ZEHの重要性』 田辺 新一氏 (早稲田大学 理工学術院 創造理工学部建築学科 教授・工博)	

建物内への浸水を防ぐには

20

- 対策の前提とする浸水深よりも上で、建物を取り囲む「**水防ライン**」を設定
- 水防ラインの**構成要素** (壁面・開口部・貫通部・その接合部等) での**止水措置** (建物存続期間内で、日常の使用や地震動に対し、その性能を維持できることが必要)
- 水防ライン**外側の設備等**は、対策目標とする浸水深よりも高所に**嵩上げ**
- 加えて、比較的軽量の戸建て住宅等は、**浮力の影響**を受けないことが必要
- 大きな流速や長時間の浸水に対しては、その他の配慮が必要



戸建て住宅の場合

マンション・ビルの場合

建築分野における ライフサイクルアセスメント (LCA) による環境負荷低減

- LCAの必要性
- 基本的な評価方法
- 国内外の動向
- 建築物の評価事例

<小林謙介>

2006年 産業技術総合研究所 LCA研究センター 特別研究員
2010年 東京理科大学 理工学部 助教
2014年 県立広島大学 生命環境学部/生物資源科学部 准教授

LCAと建築物にかかわる研究活動に取り組み、LCAに不可欠な原単位データベース“IDEA”の開発に従事。また、日本建築学会地球環境委員会LCA小委員会主査などを歴任。

国庫補助事業【CATE1】

太陽光発電システム設置に関する適切な情報提供の検討・整備・普及（2022成果）

戸建住宅の太陽光発電システム設置に関する Q&A



令和5年3月



- ① 「新築時に太陽光発電システム設置する場合」
 - ② 「将来的な太陽光発電システムの後乗せを想定して設計する場合」
 - ③ 「太陽光発電システム設置を前提としていない既存住宅に設置する場合」
- の3つのケースに分け、Q & A形式で分かりやすく解説

第1章 太陽光発電システムについて

- 1-1 太陽光発電システムの基礎知識
- 1-2 太陽光発電システムを設置する建物側の備え

第2章 新築時に太陽光発電システムを設置する住宅の計画・設計上の検討・留意事項

- 2-1 新築時に太陽光発電システムを設置する住宅を計画・設計する時点
- 2-2 新築時に太陽光発電システムを設置する時点

第3章 新築時に将来的な太陽光発電システム後載せを想定する住宅の計画・設計上の検討・留意事項

- 3-1 新築時に将来的な太陽光発電システム後載せを想定して住宅を計画・設計する時点
- 3-2 新築時には太陽光発電システムを設置しないが将来的に設置する時点

第4章 既存住宅に太陽光発電システムを設置する場合の検討・留意事項

- 4-1 太陽光発電システムを設置する既存住宅について検討・確認する時点
- 4-2 既存住宅に太陽光発電システムを設置する時点

第5章 太陽光発電システム設置後の維持管理・廃棄・リサイクルに関する検討・留意事項

- 5-1 太陽光発電システムの点検・メンテナンス・保証・保険
- 5-2 廃棄・リサイクル

参考情報・資料
(全体で184ページ)

国庫補助事業【CATE1】

省エネ性能の高い住宅を使いこなす住まい方の周知・普及に関する情報提供（2023成果）

省エネ性能の高い住宅を建てても正しく使用しなければ、かえってエネルギー消費量が増えます。本ガイドで住宅が持つ優れた性能を十分発揮できる住まい方を25のポイントで解説。

省エネ性能に優れた断熱性の高い住宅を住みこなす 住まい方ガイド

高機能な住宅の性能を発揮させる **25** のポイント



令和6年3月



視点1：熱が逃げない断熱性が高い住宅は

季節に応じた日射しのコントロールが大切

- ①夏の日射しは冷房の大敵！窓からの日射しをしっかり遮りましょう
- ②外出する際は日除けを閉めて熱を入れないようにしましょう
- ③冬の日射しは暖房の助っ人！窓からの日射しの熱で家中を暖めましょう
- ④室温に合わせて窓からの日射しを調整しましょう

視点2：暖冷房機器を適切に運転することで

少ない暖冷房エネルギーでも快適に

- ⑤在宅時、暖冷房設備は風量「自動」で「連続」運転しましょう
- ⑥断熱性の高い住宅では暖冷房の設定温度を控えめにしましょう
- ⑦暖冷房機器の定期的なメンテナンスで効率を向上させましょう
- ⑧冷房運転時に設定温度に到達して除湿機能が働かない場合には除湿モードに切り替えたり除湿機を活用しましょう
- ⑨外の湿度が高い時には窓を閉めておくようにしましょう
- ⑩乾燥が気になる場合には適度に加湿しましょう

視点3：断熱性が高い住宅では空間をつなげて

気持ち良い空気を家中に

- ⑪各室の内部ドア等を開けて家中を暖冷房しましょう
- ⑫扇風機やサーキュレーター等で冷気を家中に回しましょう
- ⑬サーキュレーターや小さな暖房器具を併用することで家中を暖めましょう
- ⑭24時間換気設備は常時運転させましょう
- ⑮外気が快適な場合は窓を開けましょう
- ⑯室内に熱がこもったら窓を開けましょう

視点4：災害時でも日常生活を維持するために

高性能な機能をもしもの備えに

- ⑰電気・ガスなどのインフラが止まっても在宅避難ができます
- ⑱太陽光発電の電気を利用しましょう
- ⑲蓄電池を利用しましょう
- ⑳エネファーム（家庭用燃料電池）を活用しましょう
- ㉑給湯機を活用しましょう

断熱性が高い住宅を住みこなすもうひと工夫

- ㉒室内外の温湿度を確認しましょう
- ㉓カーテンの設置の仕方、開け閉めで調整しましょう
- ㉔季節に応じた服装で調整しましょう
- ㉕植栽で日射しを調整しましょう

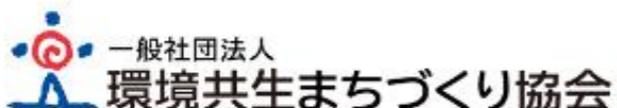
国庫補助事業【CATE2】

環境に配慮した建築物を建てる施主や事業者へ国庫補助金を交付するための審査事業

> お問い合わせ > サイトマップ > ENGLISH



会員専用ページ



協会の紹介

環境共生住宅とは

住む・暮らす

建てる・リフォームする

セミナー・見学会

出版物・ツール



小冊子

脱炭素社会を目指す
住まいづくりのための
お勧め設備・建材を紹介

一次エネルギー消費量地域別 お勧め設備ガイド・建材ガイド

国土交通省補助事業

サステナブル建築物等先導事業
省CO2先導型

サステナブル建築物等先導事業
気候風土適応型

既存建築物
省エネ化推進事業

地域型住宅グリーン化事業
ゼロ・エネルギー住宅型
高度省エネ型

LCCM住宅
整備推進事業

気候風土適応住宅の
独自基準策定の支援

国庫補助事業【CATE2】

環境に配慮した建築物を建てる施主や事業者へ国庫補助金を交付するための審査事業

サステナブル建築物等先導事業(省CO2先導型)

令和6年度当初予算：
環境・ストック活用推進事業(55.97億円)の内数

別紙

【概要と目的】

先導性の高い住宅・建築物の省エネ・省CO2プロジェクトについて民間等から提案を募り、支援を行う

事業の成果等を広く公表することで、取り組みの広がりや社会全体の意識啓発に寄与することを期待

【省エネ・省CO2の実現性に優れたリーディングプロジェクトのイメージ】

先導技術の一例

建築物	住宅
<ul style="list-style-type: none"> ■パーソナル空調、照明の可変・ゾーニング制御等のウェルネス空間の創出 ■熱・電力融通、エアリア熱回収等の広域でのエネルギーマネジメント ■避難者受け入れ等のBCP・LCPの拠点の整備 ■生ゴミ発電、井水HP等の未利用エネルギーの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ■地域の卓越風の最適利用による省エネ化 ■高い断熱性能による省エネ化 ■太陽光発電と蓄電池の併用によるレジリエンス性の向上 ■HEMSによるエネルギー消費の最適制御

【対象となる事業】

	建築物(非住宅)		住宅		
	一般※	中小規模建築物	一般※(戸建、共同)	LCCM住宅(戸建)	LCCM住宅(共同)
新築	○	○	○	○	○
改修	○	—	○	—	—

※省CO2に係るマネジメントシステムの整備や技術の検証事業も対象

【補助額・スケジュール等】

<補助対象> 設計費、建設工事費等のうち、先導的と評価された部分

<補助率> 補助対象工事の1/2等

<限度額> 原則3億円/プロジェクト等

<事業期間> 採択年度を含め原則4年以内等

「先進性」と「普及・波及性」を兼ね備えたプロジェクトを先導的と評価

・学識経験者から構成される評価委員会において評価し、採択を決定

・「ライフサイクルカーボン」をよりの確に算出し削減する取組に

資するプロジェクト等を積極的に評価

既存建築物省エネ化推進事業

令和6年度予算：
環境・ストック活用推進事業(55.97億円)の内数

【概要と目的】

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、建築物ストックの省エネ改修の促進を図るため、躯体の改修及び空調の効率化に資する換気設備の導入を行う民間等による省エネ改修工事に対して支援を行う。

【イメージ】

※省エネ改修工事に併せて実施するもの

【補助額等】

<補助対象> (省エネ改修工事・併せて実施するバリアフリー改修工事・エネルギー計測・省エネ性能の表示)に要する費用

<補助率> 補助対象工事の1/3

<限度額> 5,000万円/件(設備部分は2,500万円)

※バリアフリー改修工事を行う場合は、当該工事の費用として2,500万円を上記補助限度額に加算可能

<事業期間> 原則として当該年度に事業が完了

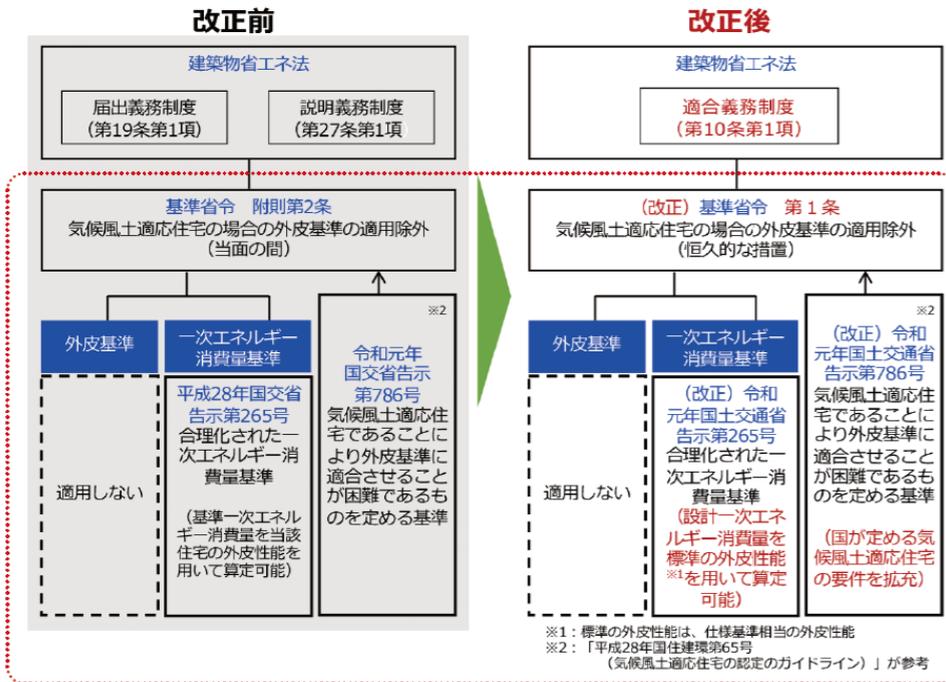
【事業の要件】

以下の要件を全て満たす、建築物(非住宅)の省エネ改修工事

- ①躯体(壁・天井等)の省エネ改修(高機能換気設備※を設置する場合は、躯体又は外皮の改修)を伴うものであること
※給気と排気の間で熱交換を行うことで、空調効率の低下を防止する換気設備
- ②改修前と比較して20%以上の省エネ効果が見込まれること
〔ただし、外皮改修面積割合が20%を超える場合は15%以上〕
・高機能換気設備を設置する場合は、改修に係る部分でのエネルギー消費量の算定が可能
- ③改修後に一定の省エネ性能に関する基準を満たすこと
- ④改修後に耐震性を有すること
- ⑤省エネ性能を表示すること
- ⑥事例集への情報提供に協力すること 等

国庫補助事業【CATE2】

気候風土適応住宅の独自基準策定の支援事業：自治体や建築関係団体を支援



第1節 (改正) 告示第786号の要点

【付録P46参照：(改正)告示第786号気候風土適応住宅であり外皮基準に適合させることが困難であるものを定める基準】
【付録P48参照：国住参建第1520号(技術的助言)第7 気候風土適応住宅について】

表2-1に示すように、(改正)告示第786号には国が定める基準と所管行政庁が定める基準があります。所管行政庁においては、各地域の自然的社会的条件の特殊性を踏まえ、地域ごとの気候風土適応住宅の要件を検討することが望ましく、その際、「H28年助言」が引き続き参考となります。

表2-1 (改正) 告示第786号の記載項目

第1項 第一号	国が定める基準
第1項 第二号	国が定める要件に所管行政庁が必要な要件を付加した基準
第2項	所管行政庁が定める基準

自治体・建築関係団体等向け

令和6年度国土交通省補助事業

令和6年度 気候風土適応住宅の独自基準策定の支援

気候風土適応住宅を継承していくうえで必要な、所管行政庁における気候風土適応住宅の独自基準策定を促進するため、自治体と共に活動する建築関係団体等に対して取り組みや活動した費用の支援を実施します。
また、独自基準の策定に関するお問合せ等について、メール又は電話で受付をします。

対象者 建築関係団体等

支援金 1自治体あたり 上限300万円

申請期間 令和6年7月～令和6年12月15日(予算達成次第終了)

申請方法 以下の専用ホームページをご確認ください。
<https://www.kkj.or.jp/kikouhuudo-iyutaku/sinsei.html>

実施団体 一般社団法人 環境共生まちづくり協会(kkj)

気候風土適応住宅とは



建築物省エネ法の省エネ基準では伝統構法による住宅など、地域の気候及び風土に適応した住宅で、断熱性能の基準に適合することが困難な建築的要素(例：両面真壁の土塗壁等)を有する住宅です(令和元年国交省告示第786号)。
気候風土適応住宅の省エネ評価においては、外皮基準への適合除外が措置されており、一次エネルギー消費量基準への適合が求められます。

支援の概要

気候風土適応住宅の基準は、国土交通大臣が定める基準(告示第786号第1項第一号)のほか、所管行政庁が必要な要件を付加または定める(告示第786号第1項第二号、第2項)ことが可能ですが、多くの自治体において独自基準の策定が進んでおりません。
そこで、各地域の自然的社会的条件の特性を多面的に捉えた、独自基準策定を促進することを目的として、自治体と建築関係団体等が連携し取り組み、建築関係団体等による勉強会・調査・普及・提言・原案作成等について、その費用の支援を実施します。
また、独自基準の策定に関する問合せなどの相談窓口を設けます。

申請及び相談窓口

- 支援の申請窓口
- 独自基準の策定に関する相談窓口

令和6年7月5日



一般社団法人 環境共生まちづくり協会(kkj)
<https://www.kkj.or.jp/kikouhuudo-iyutaku/index.html>

問い合わせは、ホームページの「お問い合わせフォーム」よりお願いします。
電話 03-5579-8757 受付時間 10:30～16:30 平日(祝日、年末年始を除く)

ご清聴ありがとうございました！



<https://www.kkj.or.jp>